



## 未来への羅針盤 ~SDGs Story from Odawara~

このコーナーではパートナーが実践するSDGsの取組を紹介していきます

### 第1回 小田原ガス株式会社

#### 事業紹介 地域のインフラを支え、 地産地消を推進する

小田原ガスは100年以上にわたり、地域のインフラを支える役割を担ってきました。「エネルギーの安定供給」と「保安の確保」を理念に、2012年に「ほうとくエネルギー」、2014年に「湘南電力」を設立いたしました。この2社は、地域で作った電気を地域で役立てる「エネルギーの地産地消」を目的にしています。いつまでも安心して暮らせるまちづくりに貢献していきたいと思っています。



代表取締役社長 原正樹さん

おだわらSDGs実行委員会会長として地域のSDGs推進にも注力しています。

#### SDGsの取組 インフラの再整備に注力

生活インフラの分野で、SDGs達成のベース(土台)となるのは「住み続けられるまちづくり(目標11)」であると考えています。そこで私たちが注力しているのが、インフラの再整備です。高度経済成長期に整備されたガス管や水道管は、今まさに更新の時期を迎えています。地域の生活基盤を守り続けるため、配管工事を担うグループ会社を設立し、体制を強化しました。ライフラインを維持しながら、脱炭素などの取組を進めていくことが重要だと考えています。

#### 今後の展開 技術を次世代へつなぎ、 まちの未来を守る

今後のSDGsの取組において重要視しているのは、人材育成です。どんなに優れた技術があっても、現場で設備を管理し、守り続ける人がいなければまちの機能は存続できません。そのためは、若い世代への確実な技術継承が欠かせません。地域を支える仕事の価値を伝え、働く人が誇りを持つ環境を整えていくこと。誰もが安心して住み続けられる、小田原の未来を紡いでいきます。



配管整備にスポットを当てた動画も制作

## 課題解決 ワークショップを 開催しました

令和7年度第3回「課題解決ワークショップ」(通算15回目)を3月5日に開催しました!

今回はNPO法人報徳食品支援センターが「もったいないを、ありがとう。地域循環型フードバンクの挑戦」、Recovery and Reload が「獣害から産業へ命の循環を考えるサーキュラーエコノミーの構築~」をテーマにプレゼンテーションを行いました。

それぞれのテーマに対し、参加者の皆さんからたくさんのアイデアや意見が寄せられました。これからも地域・社会の課題解決や、パートナー間の連携・交流の場として、定期的に関わっていきます。



### 2025年度版の取組動画を公開中!

今年度もSDGsの取組を紹介するダイジェスト動画を制作いたしました。ぜひご覧ください!



### 4月1日から連絡先が変更になります!

組織・機構の変更に伴い、4月1日から連絡先が以下の通りになります。

おだわらSDGs実行委員会事務局

小田原市企画部企画政策課政策調整係

☎0465-33-1404

✉ [ki-seicho@city.odawara.kanagawa.jp](mailto:ki-seicho@city.odawara.kanagawa.jp)